

館報

おおくま

おもな内容

- 2面…文化講演会
- 3面…清流
- 4面…学級・講座生募集のお知らせ
- 5面…スポーツ傷害保険更新期です
- 6～7面…高齢者大学講座に想う
- 8面…文芸
- 9面…みんなの広場  
結婚相談所のお知らせ
- 10面…町史探訪・編集後記

発行編集 大熊町公民館

印刷所 新栄社写真美術印刷機



さらば…  
大熊中学校

この三年間は、あつ／＼という間で、ただ目標達成に向かってひたすら走り続けてきたような気がします。

その中でも、県大会に出場した合唱音楽祭は強く印象に残っています。歌う前のあの不安と緊張感が、再びよみがえってくるようです。練習の成果を十分発揮できたので、みごと「金賞」を射とめることができました。なんといいっても厳しい鍛錬にたえた者だけが得る喜びを感じ取ることができました。しかし、こうした思い出の中にも、友人や先生方の大きな支えがあったことも忘れてはならないと思います。

私は、この三年間、自分の可能性にチャレンジすることをもっとうにしてきました。これからも続けていくつもりです。

長い人生の中で、これらの思い出はほんの一部かもしれませんがこれからの生活に生かしていきたいです。そして、どんな困難な壁も乗り越えていきたいと思えます。中学校で学んだことを踏み台として、さらに高い所に向かって前進しよう。

三年間、私の心の支えとなった友達あり・が・と・ういつかどこかで、私に会うことがあったら軽く声をかけてね！また、先生方ほんとうにお世話になりました。

大熊中学校卒業生 関根みどり

# 文化講演会



去る三月一日、農村環境改善センターにおいて婦人・家庭・教育問題の社会評論家依藤子先生を講師に招き、青少年問題の現状と対策「親は逃げられない」と題して講演された。内容は次の通り青少年問題の現状と対策について本町においても町民会議にとりくんでいるというので、子供たちの問題について行政として、又、一人の親として、非行防止にどう対処しているのか論議の参考にしていただきたい。

見ると「中野区の子どもは塾か、新宿かは、全員塾にいつている塾のきらいな子は新宿に突進している」現状である。

(1) 問題のとらえ方  
町全体の問題としてどう解決しているか

① 青少年問題の対策  
原因の把握↓対策

② 第一年目の対策「原因徹底調査」  
イ、各学校における調査から  
例1 中学校の場合↓小学校に  
例2 小学校の場合↓幼稚園に  
例3 幼稚園の場合↓三つ子の魂百まで：家庭に原因が

(2) 学校制度からみて

① 東京では、塾↓幼稚園↓有名中↓大学 全員がエスカレーターにのって大学までいくわけではない。

② 6・3制のみなおし  
イ、6・3制は十代がいそがしすぎる。  
ロ、旧制では女学校五年間ゆっくりクラブも運動も出来、現在の自分の人生に全部生きていく。十代の経験をやたかにすることとはその後の人生をやたかにする。

③ 外国(アメリカ)の学制  
アメリカ、九年。十年。

十二年の義務制。州により年数は異なる。ニューヨーク州では十一年間高二までは義務。勉強したい者は学費自己負担で高三まで。公立は入試がない、私立は入試がある。

(3) 入試は自己確立が出来てから

① 中学生の気持をすずめるため高校入試はない方がよい。

② 大学入試は自己を確立出来る年代であり能力の判断が出来るので入試は罪悪ではない。

(4) 13・14歳時代の特質  
人生で一番目立ちたい年頃「目立つ三項」  
① 偏差値で最高 ② 甲子園に出場すること ③ 非行で目立つ

二、非行防止の方向

(1) 目立ちたい場を学校、社会、家庭でもつくる。

(2) 認められる場を教育界もつくる。

(3) 家族における対応の仕方  
兄弟等の比較等をやめる。

(4) 地域社会の対応  
三、親は逃げられない  
法的には責任がない成人に達した子供の罪も親となれば逃げられない。逃げられない親の立場として子供の教育を考えてみたい。

(1) 各年代の親の気をつけること

① 幼児期

(イ) 子どものことは自分できちんとやる。

(ロ) 家族水入らずで印象にのこる思い出をつくること。(金をかけては意味がない)

③ 中学生の生徒 特効薬はトンプクしかない。

イ、何か熱中するものをもたせる  
ロ、家の中のもめごとをなくす  
ハ、年齢に応じて干渉をへらす  
ニ、絶対にわが子をみはなさない

家庭の中に一人でも自分を認めてくれる人がいる。その心と心の通じあいが非行から立ちあがらせる。

あるという結果になった。

ロ、問題児の個別調査から

(イ) 小学校では幼稚園でしっかりやってほしい。幼稚園では家庭でと責任のたらいまわし。

(ロ) 家庭では、子どもが短気なのは父、父が短気なのは祖父、祖父が短気なのは位牌が悪いという結果で逃げまわっては非行がなくならないと思う。

(イ) 或る校長会にて  
問題が起きたとき、もっとやってあげられることはなかったか。お互にそれぞれの立場で責任を負うことはないか。

(3) 入試は自己確立が出来てから

① 中学生の気持をすずめるため高校入試はない方がよい。

② 大学入試は自己を確立出来る年代であり能力の判断が出来るので入試は罪悪ではない。

(4) 13・14歳時代の特質  
人生で一番目立ちたい年頃「目立つ三項」  
① 偏差値で最高 ② 甲子園に出場すること ③ 非行で目立つ

(イ) オギャアと生れた時母乳をのませる。その感触が親子の絆である。子供が下から見上げている間にしつける。あったかいオッパイ。母親の心臓のリズムが心の落着く基礎になる。

(ロ) 子どもは六歳までに親のすべてを学びとり成人してそのかたちになる。

② 小学校の子ども  
イ、水をのみたくない馬は水をのまない。突然出来るようになる等という夢はすてること。そんな奇跡はおこらない。勉強したくない子に勉強させる事は出来ない  
出来るのはプロの教師のみ  
ロ、基本的生活習慣・親のやること

# 「シンデレラ」を主催して

昨年十二月二十五日に上演された舞台劇「シンデレラ」には、八百二十人の方が入場して下さって事故もなく、無事に、成功裡に終ることが出来ました。何と云いましても、町全体に働きかけるような大事業でしたので、主催した私達は、会員一同ヤレヤレと安堵

## 清流

最近大きな社会問題の一つとして論議を呼んでいるのが青少年の非行の問題であり「家庭内暴力」「校内暴力」をどうすればよいかという問題だと思ふ。何日か前の新聞に主婦の意識調査の結果が載っていた。それによると二人に一人の割合で何らかの形で家庭を離れ働いているという。そして残りの半数も二人に一人の割合で外で働きた



### 主婦よ 家庭に戻れ

大熊町消防団長 常盤利昭

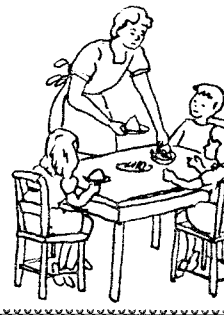
の胸をなでおろしたことでした。これは、ひとえに後援して下さいた教育委員会・PTA連絡協議会又、ご協力下さった町当局・学校や幼稚園の先生方・ご父兄の皆様方のおかげと、この紙上をおかり致しまして、厚く御礼申しあげます。私達がこの劇をとりあげましたのは、子供さん達が滅多に見る機会のない生の演劇を見ることで、夢と豊かな心をはぐくみ、又親子で見ること家族団らん役立つであろうとの思いと願いとをこめ

るのだろうか。空屋同然の家に学校から帰って来て子供の心は満足するだろうか。テレビのスイッチをひねり、お母さんがおやつ代として置いていってくれた何がしかのお金を使って親の帰りを待っている子供の心はどうであろう。テレビの番組にしても子供の読み物に

た以外の何物でもありません。決定するまでには、会員から、寒い時期でもあるし、入場券も高いのではないかとという意見等もありましたが劇団との話し合いで、信頼関係が成立しましたので、ふみきった次第でございました。劇についての感想はご覧になった方に述べていただくことに致しまして、私達の反省会では、次のような意見がございました。一、寒い時だったので、会員持ちよりのストーブは効果があった

と思う。一、劇団の人は朝早くからセットづくりに精を出していたので、滅多に見られない舞台裏もかいま見ることが出来て、珍らしい経験をしたと思う。一、券の扱いについては、学校・幼稚園の先生方に大変お世話になりました。尚、婦人学級の方々にも扱っていただいた方がよかったです。会員丈では心細かったです。

日は寒かったらう」と温かくかけて貰う言葉は何よりも嬉しいことだと思ふ。私達の囲りには大へんな無駄もあ



議論することもいいだろうがその前に子供の親としてもっと考えなければならぬことが忘れられているのではないだろうか。「主婦よ家庭に戻れ」「お母さんよ子供をしっかりと抱きしめて」そしていま寄せてくる社会のどす黒い荒波から「美しい子供の心を守れ」と叫びたい気持である。小学校から中学校へ、中学校から高校へと希望にもえる子供達の健やかに育って行くことを祈りながら。



一、親子で見たいという劇団のねらいから、低学年の方にはわかり易く喜ばれたが、高学年の方にとっては、物足りなかつたかも知れない。等々でした。でも、とにかく、事故がなく、大勢の方々に見ていただくことが出来て、ほんとによかったと喜び合いました。皆様のご協力有難うございました。大熊町婦人会

# 学級生募集のお知らせ



公民館へ  
あなたもどろんどろん

## あなたの余暇を 生かして心を豊かに

公民館では、町民の皆さんの学習要望にこたえるべく、各種の学級・講座を開設していますが、新年度も内容を豊富にして開講します。

### 婦人学級

婦人としての教養を高める学習です。対象は一般家庭婦人です。

### 家庭教育学級

明るい家庭づくりの基礎知識を身につける学習です。対象は小学校三年生以下をもつ母親です。

### 青年学級

若人が集い、研修やレクリエーション活動を通し、多くの仲間と人間関係を身につけよう。対象はおおむね二十五歳までの青年男女ならだれでも入れます。

### 高齢者大学

町内の多くの仲間と語り合い楽しい日々を送ろう。対象は六十五歳以上の学習意欲の旺盛な高齢者です。

### 茶道講座 (裏千家)

毎月三回木曜日、午後三時より午後八時まで小峰宗峰先生が指導します。

### 華道講座 (龍生流)

※昼間の部  
毎週水曜日、午前十時より午後三時まで  
※夜間の部  
毎月第一・第三金曜日、午後五時より午後八時まで  
古小高道子先生が指導します。

### 華道講座 (小原流)

毎月三回木曜日、午後三時より午後八時まで小峰宗峰先生が指導します。

### 詩吟講座 (東流吟峰会)

毎月第一・第三火曜日、午後六時より午後九時まで寺門吟狂先生が指導します。

### 民謡講座 (堀内流)

毎月第一・第三木曜日、午後七時より午後九時まで半谷捷一郎先生が指導します。

### 民謡講座 (桃波会)

毎月第二・第四木曜日、午後七時より午後九時まで今泉ヒデ先生が指導します。

### 書道講座 (書典会)

毎週土曜日 (ただし第三土曜日は除く)、午後二時より午後四時まで池田昭雄先生が指導します。

### 書道講座 (玄和書道会)

毎週木曜日、午後六時より午後九時まで泉田輝陽先生が指導します。

### 書道講座 (墨誠書道会)

毎週金曜日、午後六時三十分より午後八時三十分まで一般成人を対象に井戸川碧水先生が指導します。

### 舞踊講座 (花柳流麗舞の会)

毎週火曜日、午後六時三十分より午後九時まで花柳寿桃先生が指導します。

### 短歌教室 (あゆみの会)

毎月第二土曜日、午後一時より午後三時三十分まで青田サダ先生が指導します。

### 俳句教室 (大熊俳句会)

毎月第三金曜日、午後六時より午後八時三十分まで渡辺政美先生が指導します。

### 珠算教室

毎週火・金曜日、午後二時より午後五時まで山田玲子先生が指導します。

### 手編み教室

※午前の部  
毎週水曜日、午前九時三十分より正午まで  
※午後の部  
毎週水曜日、午後一時より午後三時まで  
佐光美奈子先生が指導します。

### コーラス教室

毎月第二・第四木曜日、午後七時より午後九時まで開きます。

### 手話教室 (ありんこ)

毎週金曜日、午後七時から午後八時三十分まで開きます。

### なかよし教室

自発性、主体性、創造性豊かな活動を通し、明るく健康な少年の育成を図り地区リーダーの養成を図ります。年五回開催。対象者は町内の小学校五年・六年生です。

### 料理教室

すぐに役立つメニューです。西洋三回、中華三回、和風三回のコースの実習でだれでも入れます。

### 電気教室

東北電力株式会社原町営業所の講師を迎え六ヶ月コースで年2回電気に対する知識を高める学習です。対象は一般成人です。

### 絵画教室

毎月第一・第三日曜日、午前九時より正午まで木村玄先生が指導します。

△受講申込み▽  
受講希望者は、住所・氏名・所属学級・講座名を書き、四月二十日まで公民館へ申込み下さい。その他不明の点は公民館(電話二〇六五番)へおたずね下さい。



# スポーツ傷害保険

## 更新期です

この傷害保険は、スポーツおよび社会教育活動に伴う傷害事故の補償を行って、団員や指導管理者等が安心して活動できるようにするとともに、これら活動グループの育成および運営の円滑化を図る趣旨から創設されたもので、全国的規模をもった互助共済による傷害保険です。

早めに入入手続きを取られるようお勧めします。

### ◆加入できる団体

スポーツ団体、および社会教育関係団体のうち、指導監督者を置き、十名以上の常時明確に把握されている団員で構成されている団体を対象とします。

### ◆保険の区分

#### 第一種

A 義務教育終了前の児童および盲学校・聾学校・養護学校の生徒により構成されている団体  
B スポーツ活動以外の活動（文化活動・奉仕活動・軽スポーツ等）を行う団体  
C 地域住民により構成されたアマチュアスポーツを行う団体  
例 ママさんバレークラブ、早起き野球クラブなど。

#### 第二種

A 山岳登山・スキングダイビング・グライダー操縦

| 区分  | 保険料(年間)   | 保 険 金 額   |                   |             |
|-----|-----------|-----------|-------------------|-------------|
|     |           | 死亡・障害後遺害金 | 入院金額<br>入院日       | 通院金額<br>通院日 |
| 第一種 | A 320円    | 1,200万円   | 3,700円<br>(1,500) | 1,000円      |
|     | B 380円    |           |                   |             |
|     | C 1,000円  |           |                   |             |
| 第二種 | A 18,200円 | 1,200万円   | 3,700円<br>(1,500) | 1,000円      |
|     | B 4,260円  |           |                   |             |
|     | C 1,600円  |           |                   |             |

◆この保険で支払われる保険金  
(1) 死亡・後遺障害保険金……被害の日から一八〇日以内その傷害がもとで死亡したとき……一〇〇%  
(2) 被害の日から一八〇日以内にその傷害がもとで後遺障害が生じたとき……その程度によって三〇%～一〇〇%  
(3) 入院保険金……傷害により医師の指示にもとづき入院したときに、事故の日から一八〇日を限度として保険金が支払われます。  
(4) 通院保険金……傷害を被りその直接の結果として生活機能または業務能力の減少をきたし、入院によらず医師の治療をうけた場合その通院日数に対し九〇日を限度として保険金が支払われます。

### ◆保険期間

加入手続完了の翌日の午前〇時から、翌年の三月三十一日午後十二時までです。

### ◆加入受付期間

原則として三月一日から七月三十一日までです。

### ◆加入手続き

保険料分担金の送金と加入依頼書及び団員名簿（氏名・年齢・職業を記入）の送付の両方が必要です。

### ◆万一事故にあわれたときは

(1) 事故の通知……事故の日から三十日以内に事故通知をしなければなりません。  
(2) 保険金の請求……傷害が治癒したのち、所定の保険金請求書を提出しなければなりません。

なお、必要用紙はすべてスポーツセンターに準備してあります。詳細については気軽にスポーツセンター（三六〇四）へ問い合せ下さい。



# スケート教室に参加して

大小三年 片岡由機子

公民館のスケート教室に参加し、ハワイアンセンターに行くので、うまくすべれるかなあと思った。バスにのって、ハワイアンセンターに進んだ。カラオケやクイズをしたりして、おもしろかった。ハワイアンセンターについたら、くつをかしてもらい、くつをはいたあとじゅんびたいそうをした。放そうで手ぶくろをはめてすべりましようと言っていた。

最初は、はじっこにいたので、おかあさんが、「まん中にいこう」と言ったのでまん中にいった。おかあさんとすべっていたら、ハワイアンセンターのおじさんが「おかあさんとすべっちゃいけないよ」ひとりですべりなよと言ったので、手をはなした。おじさんが、すべりかたをおしえてくれたので、じょうずになった。一時半ごろになったら、一周三十秒もかからないですべれた。わたしは、うれしくなって、なんどもすべった。スケートをやめて、帰りのバスにのった。



# 高齢者大学講座に想う

学級長 橋本 鉄治郎



高齢者大学講座は急速に進む新しい高齢化社会に於ける老人像を求め地域社会に対する高齢者の役割の重要性に鑑み六十五歳以上で心身共に健康で学習意欲旺盛な希望者を以て組織する極めて有意義な講座であり昭和三十八年に発足以来二十有余年の歴史を有し年々運営学習内容も改善され今や運営方針学習目標も確立し、更には高齢者大学生憲章も制定され、名実共に充実して参りました。学級生は八十歳〜八十九歳二百三名、七十歳〜七十九歳百二十一名、六十五歳〜六十九歳四十八名計百九十二名で学習は毎月一回名講師を招聘し、高齢者の生甲斐を求めて健康管理家庭社会に於ける立場役割等につき受講し成果を地域社会に普及し、健康増進の為に各種スポーツ大会に参加し、又年間学習反

省名勝史跡探訪を兼ね、一泊二日の現地研修旅行を実施し成果を収めて居ります。学級は、四月に開講式三月閉講式を厳粛裡に挙行されますが、学級には卒業生は無く全員落第し引続き学習する制度であります。閉講式には、町長より立派な修業証書に皆勤者には皆勤賞が授与されます。学生一同昔日の童心にかえり感慨一入です。これ又老化防止若返りの妙薬のようです。以上学習の概要ですが、以下学習効能の一端を紹介しましょう。(1)学級生は学習意欲旺盛で学習態度も大学生の誇りと自覚により極めて良好特に出席率上々で各講師先生方の賞賛するところです。(2)常に時間を守り、他人に迷惑をかけるない講座には一名の遅刻者無く定刻に開始します。(3)全員健康で明朗である。(4)親しい人間関係仲間づくりで孤独追放。(5)老化防止若さを保つ。(6)学習成果を普及し、敬愛される高齢者である。問もなく新学年を迎えます高齢者の皆さん一人でも多く参加し生涯教育に徹して長生きいたしましょう。

## 長寿の詩

五十歳月、人生半、  
七十、嬰、鍊、凌、社、者、  
八十、道、静、楽、風、月、  
百歳初開、千、寿、花、



## 一年間の思い出

大小五年 渡辺 宗子

わたしたち、なかよし教室のなからは、一年間にいろいろな所に行き、遊んだり、学んだりしました。五月二十二日には、「新しい友だちをつくらう」で、五十人山の山のぼりに行きました。山の上で、みんなでドッチボールをしたり、おにごっこをして遊んだことを思い出します。山を下りる時は、けわしい長い道を通って、下についた時の喜びもわすれません。

七月二十八日〜二十九日の「たくましくなろう」では、いわきの子ども村に行きました。ローラースケートは、友だちと競争したり、ころんだりしました。ほかにもふえを作ったりしました。今、思うことは、あのベットでねて、楽しい日をもう一日すごした

ということでした。九月二十五日の「文化財をたずねて」は、さんかできませんでした。でもきつと楽しかったと思います。十二月十八日の「みんなで作ろう」のたこ作りは、さんかした人が少ないようでした。でもみんないっしょけんめい作っていたようでした。わたしの作った、たこは、絵もまだ完成していませんし、まだ飛ばしてもいけないので上手にできたか、どうかわかりませんが、わたしは、期待しています。一月二十二日の「一年間の反省会」では、うるさかった人がいたので少し悪い反省会になったようでした。楽しい一年間でした。

## 俵萌子講演を聴講して

下野上三区 前田 光子

青少年問題の現状と対策「親は逃げられない」という俵先生の講演を聞いて感じた事を述べさせていただきます。

現在は非行が多く頭の痛い問題です。問題児になった際、責任逃れが一番悪い事です。自分の子供を見捨てたら一対誰が救うのでしょうか。礼儀作法、言葉使い、自分の事は自分で出来る子供に躾るのは親しかいないのです。

子供とのふれあい、家庭環境、友達関係等各家庭で取組んでいただけたら非行も少なくなると思います。東京では有名中学に入ると

め塾通い、十四歳〜十五歳が人生で一番目立ちたい年齢と聞き、私も二人の子供の母親として先生の一つ一つの言葉が胸を打ちました。この中でも私の胸を撫でおろした言葉が二つあります。一つは、母乳を与えない。二つめは、お金のかからない思い出をいっぱい作ってあげなさいという言葉です。この二つを子供にしてあげられたと思うと胸がいっぱいでした。時々母乳を与えているお母さんを見かけますが本当にほほえましい光景ですね。

これから色々な問題に出会う事と思いますが、俵先生の講演を思い出して、母親としての立場を自覚致し、明るい家庭づくりに前進したいと思います。

## 図書あんない

### あたらしい本

- タロ・ジロは生きていた 藤原 一生
- こぼれる愛をいまも 榎 野里夫
- 愛・見つけた 小林 完吾
- こぶしの花 大日方妙子
- トモエ学園の仲間たち 野村けんじ
- 男はたいへん 佐藤 愛子
- 写楽暗殺 今江 祥智
- 他児童文庫 四百四冊

# 料理教室に参加して

小入野 根本 友子

私の住む部落でも、区長さんのお骨折りのおかげでやっと二回ほど料理教室が開かれた。しかし、何の設備もない部落の公民館ですら、とてもできないので、私の家の台所を開放することにした。さほど広くもない台所は、うれしいことに部落の人のほとんどが参加したためいっぱいになってしまったがそれでもおしゃべりをしながらの楽しい時間はまたたく間に過ぎてしまった。

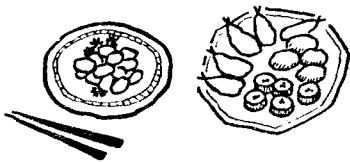
とかく私たちは、勤めを持って忙しいと手軽さ、便利さからついインスタント食品に手を出しがちだが、インスタント食品でしか味わうことのなかったものも、こうして習ってみるとそれほど難しくもなく、味もそれぞれの家庭に合わせる事ができ、とても勉強になりました。

部落の人たちのほとんどは、何世代かが同居という家庭ばかりなので、三度の食事への気づかいは大変なことだと思う。我が家も例外ではなく、やはり明治から昭和までの七人が同居している家庭である。どうしても子ども中心の食事が多くなってしまうので、料理教室等を通して家族みんなが楽しめるような料理をもっと数多く習うことができればと思う。

最後に日曜日だというのに、わ

ざわざと出向いてくださった公民館の担当者、区長さんにまざっていただき、講師の先生と共に試食をしながらの反省や感想等の話し合いは、同じ部落住民でありながらなかなかお話しする機会のない私たちにとっては、とても楽しいひとときでした。

この料理教室を通して得るものはたくさんあったけれども、やはりこのような行事を通して部落の人たちとのつながりを密にし、そして今後の部落作りに協力し合っていくのなら、それはすばらしいことだと思う。今後、料理教室だけに終らず、せひいろいろな勉強の場を広げてくださるよう、関係者の方々にお願いしたいと思えます。



## 子供会の思い出

大野小六年 渡部 智幸

昨年四月一日に、お父さん、お母さん方の野上杉の子・子供育成会と併行に、野上杉の子・子供会が会員相互の親睦と資質の向上、又親と子供の理解を深めるためクリエーション等を取り入れて明るく、健康な子供に、を目的に結成されました。私は、その初代会長に選ばれ、初めは何も分からないのでちょっと不安でしたが、分らないときは、父兄の方と相談して、この一年間を皆さんのおかげで無事大役を務めさせて頂きました。この一年間を振り返ってみると、楽しい事がたくさん思い出されます。まず春には、三ッ森山へ遠足に行き桜の花の下でお弁当を食べたときのおいしさは格別でした。又、五月にはお父さん達と球技大会、七月には公民館で一泊二

日の共同合宿をし、区長さん、鈴木保蔵さんをはじめ、父兄達と、はなごうでご飯をたいて食べ、映画を見て、色々なお話を聞き、楽しい夜をすごしました。秋には野上川において芋煮会を実施し、あのおいしい味は忘れられません。そして、十二月のクリスマス会も楽しい思い出でした。今年の三月十三日に下級生と父兄達が僕たち六年生のためにお別れ会を公民館において開いてくださいました。お母さん達もちをつけて下さいましたが、今は皆機械なので「ウス」でついた「もち」はとてもおいしく皆、のどをならしながら何回もおかわりし、おいしく頂きました。又、お別れ会の最後に皆さんで、「ほたるの光」を歌って我々を送ってくれた時は、「ジーン」と胸があつくなりました。僕は、この楽しい思い出を中学生になっても、きっと忘れないでしょう。そして下級生たちも今までよりもりっぱな子供会を育てて欲しいと思います。おかげさまで僕たちは一歩一歩、確かな道を進んでいきます。お父さん・お母さん方に感謝いたします。ありがとうございました。



## 映画「思いやり」

熊小三年 石黒 弥生

私は、一月二十九日に公民館で見た「思いやり」という映画は、とても勉強になりました。

それは、あんな小さい子が一人で遠い所へ行くなんてゆうきがな、できない事だろうと思えます。たった一つの力ギでも、みっちゃんという子には、「たっちゃんには、だいなカギ」なんだと思ったのでしよう。

そこも勉強になったけど、たっちゃんの家に行くまでに無視されたり、「なに、この子」と言われたり、親切なおじさんだったけど、へんな服そうをしていたので、ゆうかいはん人にまちがえられました。

服そうで人を決めてしまうなんて悪い事だと思えます。そのあとやさしいお兄さんになって、ちゃんとたっちゃんの家につけたのでよかったです。



# 文芸



## 詩

### しゆくだい

大小五年 島 晃洋

大すきな 休み  
大きらいな しゆくだい  
本をひらくとじごくだ  
はやくやれ はやくやれ  
しゆくだいが せきたてる  
そんなに はやくできるか  
大すきな 休み  
大きらいなしゆくだい

### 足

大小五年 松本 洋人



新しくくつを買う時  
サイズは二十五センチ  
お父さんが ナニツ  
お母さんが エエツ  
ぼくは にっこり

お父さんと同じくつがはける  
くつを買うたびに  
いつも同じ言葉を聞く  
ぼくの家で  
ぼくが ちよっぴり  
えらくなれる時

### 雪

大小五年 志賀 美和



どうろもまっ白  
やねも まっ白  
わたしはうれしい  
お父さんはがっかり  
おねえさんもがっかり  
朝早く雪かきするからだ  
どんどんふればいい  
わたしのせいぐらいふればいい  
雪だるまつくったり  
かまくらつくったり  
雪のトンネルも歩いてみたい

### 坂下ダム

大川原 志賀 隆宣

杉の花粉の飛ぶところ  
山紫にいろどりて  
人の心を浮立たす  
坂下ダムの春の宵  
ボート浮べてさをさせば  
峡にさける百合の花  
空にうたえるホトトギス  
思い出させる恋女房  
ダムは呼んでる茜雲  
朝日は昇る水平線  
夕日は沈む手倉山  
おどる山魚の川しぶき  
友よ集れ皆集  
笑うも生よ泣くも生  
生あるうちに今一度  
尋ねて見よう新世界

## 短歌



渡部 富久子

雪積もれど休みに入りし校庭は踏  
む子らなくて汚れなきまま

相田 美恵子

振舞はる甘酒を手に初日の出を

佐藤 祐禎

木魚の音経緯の声に高く和し供花  
に香の煙ただよふ

松野 和人

崖の上に今し昇れる初日の出釣人  
影絵となりて竿振る

郡司 勝雄

降りしきる雪とばしつつ入り来る  
最終列車のライトまばゆし

沢内 高子

来客に心せわしく明け暮れて夜の  
しじまに安らぎ戻る

飯田 良江

黄泉の国の静けさのぞく細き管飛  
鳥時代の玄武の絵とらふ

本多 睦子

短歌にあけうたに暮れゆくあせり  
の日無口の吾に夫のいぶかる

野辺 百合

関ヶ原の崩れし祠に雪ふりて動き  
に耐ゆる姿残れり

小川 澄春

満開の梅の盆栽眺めつつ招きし友  
と夫は酒酌む

堀川 晃

深雪の庭に枝垂る老櫻花芽はぐく  
み来む春を待つ

## 俳句



赤とんぼ紙ヒコーキもひるがへり  
結城 千代子

月明り頼みてつみし黄菊かな

猪井 静枝

バリバリと猫車押す雪の上

木村 蓉子

雪晴間夫の摘みきし海苔薫る

鎌田 光子

足音を道づれにして秋の暮

渡辺 政美

北國の雪積んで来し電車かな

川木 裕子

雛人形娘に買うて娘に触れせず

河西 かつ

湯豆腐や酒強き子に飲めぬ父

中山 安子

納豆の葱ささむ音春寒し

菅野 ミヨ

腰抜けの表紙となりて日記果つ

佐久間 信子

## 町民憲章



健康で楽しく働ける 豊かなまちを つくりましょう  
みんなで助けあい 明るいまちを つくりましょう  
きまりを守り 平和な住みよいまちを つくりましょう  
自然を愛し きれいなまちを つくりましょう  
進んで学び 香り高い文化のまちを つくりましょう





# スポーツが結ぶ縁えにし

見はらしのよい中央台に武道館が完成してから今年には四年目に入ります。落成と同時に発足した大熊弓道会も小人数の会員ではあるが、春・秋の県弓道大会の入賞や二年連続国体選手の選出などで、県内でも認識されるようになってきました。

町内にスポーツ愛好グループは数多くあるが、スポーツを通じて異性と知り合い、結婚へゴールインした例はあまり聞きません。弓道部には「弓」を通じて知り合い結婚したカップルがありますのでご紹介したいと思います。

56年弓道部発足一ヶ月後に入会した渡辺紳一郎君(大川原会社員)です。彼は毎夜練習に励み、56年秋季弓道大会に初参加したのです。その折、女子団体戦で優勝した会津若松女子チームの勝田幸子選手(個人女子二位入賞)と知り合いとなり、当時勝田選手は郡山女子大生でした。卒業後会津若松市に戻り幼稚園の保育さんをしていたが、愛のキューピットが放った矢は遠近を問わず二人を結びつけたのです。58年に結婚し、12月下旬

には二世も誕生し、みんなに冷かされながらも練習に励んでいます。奥さん(旧勝田選手)は弓道歴七年(三段所持)で渡辺君の倍ほどで、インターハイなどの選手としての活躍は目ざましかったようです。奥さんへのメンツもあるのか彼も昨年は四段に挑戦し、八月には合格しております。お互いが好きになったきっかけは?と訊いても微笑しているだけで答えてくれないが、結婚披露宴で彼女の友人が「何で会津から浜通りの方まで行かなければならないの?相手はどんな人?」「弓」をやる人?そう

「弓」をやっている人なら反対しないわ。」というようなことをスピーチしたそうです。このスピーチの中に二人を結びつけた要因が感じられます。弓をやっている人の心、相手のないスポーツ(競技会の場合は違うが)己れの心と技とでの向かう謹厳な態度が人間を作り上げてゆくのです。彼女もこの地に骨を埋める覚悟で、出来れば保母という職業を通して子供の育成と弓道に精進したいと語る。縁は生き生きと輝いていました。

そして今春三月には弓道会のM君が、弓道を始めの前からやっていた体操で知り合ったAさんと挙式をあげるようになっております。今のところ北向きの道場なので凍てついて稽古もままならないが、啓蒙を過ぎる頃には春を待ちかねている弓士が練習に通ってきます。皆さんどうぞ気軽にのぞいて、弓に触れてみて下さい。特定の人だけの道場ではありませんからみんなでも有意義に活用したいものです。

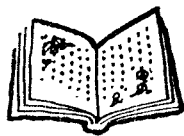


## 話題を豊富に

いわき市一婦人

近くに公立の図書館があるのでいつも利用している。すぐに読みたい本を引き出せるように分類されているので、忙し私の私には大助かり、期限は二週間、一人三冊までなので、一冊は文学全集、二冊目は気楽に読める本、三冊目は趣味の本とか写真集等、目の保養になりそうな本を選ぶ、最近

世界文学にチャレンジ、中学、高校時代の国語の教科書でなじみ深い作者からアタックした。学生時代には理解できなかった作者の心情が、少しわかりかけてくると面白いものです。おかげで、読書の楽しみと同時に、話題も豊富になり、利口になったみたい。今は、この市町村にも図書館が設置されているようですが、利用度は今いちといったところ、時々本の中に菓子屑や髪の毛等、しおり代りにしては不潔すぎるが挟まっていることがある。貴重な税金で購入して頂くのですから、もっと大切に扱っていきたいものです。そして大いに利用し、読後の感想など気軽に話し合える友がきたらどんなに楽しいことでしょう。



## 新生活運動標語

- ◎集会の時間を守り定刻に開会しましょう。また、欠席の場合は連絡しましょう。
- ◎限りある資源を大切に使いましょう。
- ◎廃棄物(ごみ等)の区別を適切にしましょう。

## 結婚相談所のお知らせ

農業後継者確保対策として「農業後継者結婚相談所」を昭和五十五年十月農業委員会に開設し、花嫁、花婿の確保に努めてきました。開設以来三年余を過ぎた今日、経済情勢の変化に伴い、尚一層の充実を図るため「大熊町結婚相談所」と改称し、農業後継者だけでなく町内結婚適齢者全員を対象とした相談所として五十八年四月から次のとおり開設いたしました。

記

- 一、相談所は大熊町公民館内に開設
  - 二、報奨金等について  
相談所を通して結婚した(結婚届書を提出した者)新婚夫婦及び媒酌人については次の各号に定める基準により支給されます。
  - ① 配偶者の一方、又は双方が本町に住民登録を有している者
  - ② 新婚夫婦には、一万円相当の記念品
  - ③ 媒酌人には、一組につき二万円
  - ④ 夫、妻のいずれも初婚であること
- ※結婚届書とは戸籍法の届書でなく相談所備付のもので、詳しくのことにつきましては、公民館(二〇六五)へお尋ねください。

# ふと感じたこと

いわき市 武田 絃江

わずかな芽のふくらみに春の訪れを予知し、色づき始めた梢を見て、やがて吹く木枯しの季節を思う。その自然のいとなみに改めて感動を覚える。日々、時間に追いまくられている私は、たまの休日

大熊町に帰るのが何より嬉しい。そこ、ここに名もない雑草の花が己れを誇示することもなく精一杯に花を開いている姿をみると、心の中がみずかさされているようでもう足が前に進まない。豪華な花より、野の花に心魅かれるのはむしろ、自分たちの人生も花の姿にどこか似ているからなのかも知れない。花屋さんの店頭で季節に

おかまいなくさまざまな花が並べられている。ハウスの育ちのせいでしょうか、色も形もどこか都会的、それらを目にするたびに、私の心は、「わが心のふるさと」を懐かしんでいる。開発が進み、車社会にすっかり慣れ親しんだ私達は矛盾を承知で、一方で自然を愛し、もう一方で破壊している。せめて大熊町だけはいつまでもゆとりある

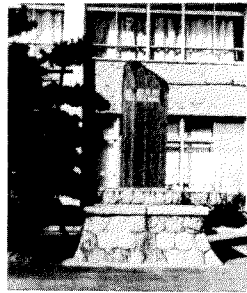
心豊かな、そんな町であって欲しいと思う。



## 町史探訪

### 大熊町誕生

### 二十周年記念碑



この碑は昭和四十九年十一月一日、大熊町公民館前に建てられた。今年は大熊町誕生三十周年に当るので、この碑の全文を書いてみる。この三十年間の変貌の一部を思い出す資料に供したいと思う。

#### 記念碑

大熊町は昭和二十九年十一月一日、町村合併促進法により、当時の大野村と熊町村とが合併

して誕生した町である。以来年を重ねること二十年、急激な変化する地方交付税不交付団体となるまで成長した。

省みれば創設期にあたり、初代町長小畑重氏よく時代の推移を洞察して町政の統理に心魂をかたむけ、町議会および八百町民これに協力して乏しい財政のなかで山積する諸問題を克服して町開発の端緒をひらき、現町長をはじめ後継者一同これらうけて努力拡充し地域発展の基盤を確立したのである。

ここに町制施行二十周年の記念祭を行なうにあたって、激動する社会情勢に思いをいたし、温古知新つねに今日までの先人の労苦と遺業をしのび、町民一同ますます一致団結して、黎明期を迎えた双葉地方の中心地として、町民による町民のための、住みよく豊かな町づくりをまい進し、画竜点睛の実をあげることを誓って本記念碑を建立する。

昭和四十九年十一月一日建之

大熊町初代関係者  
町長 小畑 重 助役 松本直清  
収入役 志賀秀正 教育長 松本直清  
議長 横田 一 副議長 池田徳治  
議員 水野幸治郎 根本 秋友  
渡辺 忠怒 泉 覚  
酒井 哲 吉田 公直  
石田 武 吉田 孝  
泉田 松威 橋本 清治  
半谷 重一 西村 正  
猪狩 武助 中野 栄宗  
池田 庄治 志賀 昇  
山田幸太郎 横山 重雄  
佐々木 忠 武田助治郎  
鈴木綱治郎 板倉 市衛  
高野 安秀 関本 好男  
志賀 隆宣 鈴木 米蔵  
武内 武雄 和田 平  
石田 理宗

町長 志賀秀正 助役 遠藤正  
収入役 佐々木勝 教育長  
吉田農夫雄 議長 吉田 収  
副議長 荒岡正一  
議員 愛場 仁 半谷重一  
浦野誠康 井上文男  
井手 昇 吉田茂宗  
石田 敬 渡部 悟  
鈴木一雄 松本六郎  
愛川 一 丸添富一  
吉岡光雄  
町民 七千九百四十人  
双葉石工 澤上勝意

町民 八千八百十五人

建立者



「お早よう」  
「今日おは」  
「今晚は」  
の一声かける  
挨拶運動を  
広げましょう  
あいらひは  
まが家庭から

### 移動図書館の利用

五世帯以上のグループをつくって申込み下さい。毎月楽しく、面白い本を移動図書館車ひまわり号でお届けします

### 編集後記

昭和五十八年度は、町民の皆様から、たくさん原稿をお寄せいただき、豊富な内容で編集できましたことを厚くお申し上げます。新年度も引き続き紙面の刷新を図りながら、町民の館報として発行して参りますので、さらにご指導とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度です。  
① 主張、産業、教養、文芸に関するもの何でも結構です。  
② 政治的な色彩を帯びたり、個人非難に属するものでないこと